

# かながわ西湘

2024

7

vol.214



## 愛情たっぷりメロン

中嶋 利充さん  
報徳/小田原市堀之内

メロン10a、イチゴ約16a、  
水稲は90aを栽培。

閑静な住宅街に建つハウスでメロンを栽培する中嶋さん。約1400個のメロン一つひとつに愛情を注ぎ育てたメロンは、糖度13度以上の甘さになり、贈答用やお中元に人気。7月上旬から中旬まで、朝ドレファ〜ミ〜に出荷されます。

オールスメロンは別名マスクメロンと呼ばれ、果実を覆う美しい網目、とろけるような食感と豊富な果汁、芳醇な香りが特徴です。中嶋さんはその網目を利用して、生長過程で表面の皮に傷をつけ「西湘さんじろう」の顔と「JAかながわ西湘」の文字を作成。完成したメロンは6月下旬から7月上旬まで朝ドレファ〜ミ〜でお披露目しています。

メロン栽培では一つの苗に3個の実をつけ、その中から一つを選び育てます。種の部分をなるべく少なく、果肉が多くなるよう工夫。中嶋さんは「これからも消費者から評価されるメロンを作っていきたい」と意気込みを見せました。

# 待望の小麦収穫！

## ～きんじろう農園は大歓声～

「准組合員は正組合員とともに地域農業を支えるパートナーです」を合言葉に開園している小田原市成田地区にある体験型農園『きんじろう農園』で6月2日、待ちに待った小麦の収穫作業が行われました。参加者は汗を流しながら一株ずつ鎌で刈取り、昔の農機具の脱穀機や唐箕を体験。収穫の感動を味わっていました。

この農園は令和元年に開園し、これまで野菜や景観作物などの栽培に取り組んできました。昨年から初の小麦栽培に挑戦。山北町

で小麦を栽培している高杉丈二さんの指導を受けながら、准組合員ら26人が参加。土づくりのためのクリムゾンクローバー種まきから



みんなで協力して収穫の喜びを味わいました



ビュンビュンとリズムに合わせて脱穀作業

始まり、小麦の種まき、麦踏みや除草作業など14か月間の作業を体験し収穫の日を迎えました。

当日は、慣れない手つきで小麦を収穫。刈取った小麦の穂から足踏み脱穀機を使って実を取り除き、その後唐箕で風を送り、殻を飛ばし選別する作業を何度も行いました。参加者は初めて使う道具に戸惑いながらも、脱穀するリズムや風の力を調整するなど考えながら作業を楽しんでいました。

JAでは物価高騰が続く中、地産地消や国産国産を進めています。中でも小麦の多くは輸入に頼っていることや、他の作物よりも比較的栽培しやすいことなどから小麦栽培を計画しました。作業では芽が出た感動や食物のもつ力を参加者とともに肌で感じる事ができました。参加者は「どれも難しい作業。みんなで力を合わせて行うことは楽しい」と収穫の喜びを感じていました。

この日収穫した小麦は約300kg。小麦は乾燥した後、うどんに加工する予定です。JAでは今後とも准組合員が地域農業を支えるパートナーとなるよう、さまざまな活動に取り組んでいき、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を目指してまいります。

# 理事会だより

## ～主な議題～

令和6年5月28日

### ◆支店運営委員会のあり方検討委員会の中間報告について

同委員会協議の中間報告として、各支店の支店運営委員会の内容やJAの基礎組織となる各支部の活動調査結果に基づき、整理すべき課題が報告されました。今後は、中間報告内容を全支店の支店運営委員会で報告のうえ課題とした項目を検討いただいた後、同委員会において協議を進めていきます。

### ◆エリア構想に基づく第2・3グループの店舗再構築について

新たな7エリア構想に基づく店舗再構築策について、令和6年4月からモデルエリアとして先行移行となった南足柄エリアに続き、令和7年～8年の2年間で行う第2・3グループの他6エリアにおける店舗再構築を実施することについて協議した結果、承認されました。この新たな店舗再構築については、第18期通常総代会資料等に詳細を掲載することとし、事業説明会で説明していくことも併せて承認されました。

### ◆令和5年度決算及び第18期通常総代会資料等並びに部門別損益計算書の承認について

令和6年6月27日（木）に開催する第18期通常総代会の資料が示され、提案される令和5年度事業報告並びに部門別損益計算書をはじめ、令和6年度事業計画や自己改革工程表などについて内容を協議した結果、承認されました。

### ◆令和7年度新規卒業者採用計画について

令和7年度の新規卒業者の採用予定者数を27名以内とすることの計画が承認されました。

## カメムシの防除について

### ○水稲斑点米カメムシ類の防除対策

斑点米カメムシによる被害を受けると、コメの収量・品質が低下しますので防除対策を実施し、発生を抑えましょう。

- ・水田内にイヌホタルイやノビエ類が多いほ場では、斑点米カメムシ類の発生が多くなるので除草対策を徹底しましょう。
- ・出穂期に発生源であるあぜや水田周辺のイネ科雑草を除去すると斑点米カメムシ類を水田へ追い込むことになるので、草刈りは出穂10日前（7月下旬頃）までに行いましょう。
- ・8月には出穂期10日後と24日後に薬剤散布、(粒剤の場合は7日後と21日後) 1回目防除後10日以内に農道やあぜの草刈りをし、斑点米カメムシの増殖源となるイネ科雑草の除去に努めましょう。収穫前の草刈りはイネの収穫2週間前以降に行いましょう。



被害粒 斑点米

### ○果樹カメムシ類の防除対策

県から果樹（ウメ、キウイフルーツ、カンキツ、ナシ、カキ）を対象作物とした果樹カメムシ類の注意報が発表されました。また、根府川試験場でも4月下旬から捕獲数が増えており、平年比100%以上と非常に多くなっています。

- ・夜行性のため、日没1時間後からが最も多く見られますので夕方に見回しましょう。
- ・集合フェロモンで仲間を呼び寄せるため、園地で飛来を認めたら、直ちにネオニコチノイド系薬剤（例 スタークル顆粒水溶剤、アクタラ顆粒水溶剤、ダントツ水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤）、合成ピレスロイド系薬剤（例 アグロスリン乳剤、テルスターフロアブル）で防除しましょう。
- ・無降雨条件では、ネオニコチノイド系薬剤、合成ピレスロイド系薬剤ともに残効期間は10～15日程度であることが明らかになっています。
- ・スタークル顆粒水溶剤等のネオニコチノイド系薬剤は、カメムシへの忌避効果も期待できますが、降雨量30～50mmでは効果が低下するため、降雨時には再散布が必要になる可能性があります。
- ・合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類やカイガラムシ類の多発を招くことがあるので注意しましょう。

※農薬の使用に際しては、最新の登録状況をご確認ください

## ～地域農業応援プログラム カメムシ防除に係る助成金のご案内～

殺虫剤購入者に対し助成しますので、ぜひご利用ください。

申請期間…令和6年4月1日(月)～令和7年2月17日(月)まで

カメムシ対策として殺虫剤スタークル（顆粒水溶剤・粒剤等）を使用して防除に取り組んだ場合、購入費用(税抜き)の1/2以内を助成します。

※同一年度に1回の申請とします

※申請手続きは各営農経済センター、中井支店、山北支店

## 年末贈答用特選大津みかん出荷者を募集

年末贈答用大津みかんは園地にフィガロン乳剤（熟期促進）の散布と着色促進のための被覆を行い、検査に合格した方のみを集荷します。

集荷期間は12月上旬から中旬までとなっており、お歳暮向けに販売します。

※出荷には条件があります（JA共販出荷者、石灰硫黄合剤は散布しないなど）

参考：令和5年度の支払い平均単価  
3,467円／10Kダンボール満杯詰め（秀品2L・L）  
1,989円／5Kダンボール満杯詰め（秀品L・M）

締切り日：令和6年7月19日(金)

申込先：各営農経済センター(中井支店・山北支店含む)

問合せ先：営農部 営農指導課 ☎0465(46)6950

日本の食料自給率はカロリーベースで38%（令和4年度）と低く、6割以上を輸入に頼っています。今、世界的な異常気象などにより食料が不足、輸出国の生産量が減少し、価格の高騰や輸出制限の実施により、食料が足りなくなる可能性があります。他にも家畜などの感染症流行や輸出国の政情不安など様々なリスクがあり、日本の食は将来危機にさらされるかもしれません。私たちが食を守るために今できることは何か一緒に考えてみませんか。



## 地産地消・国消国産に取り組みよう

身近な取り組みとして、地産地消と国消国産があります。地産地消は地域で生産されたものをその地域で消費することを指し、国消国産は国民が必要として消費する食料は、その国で生産するという考え方です。地元のものや国産を選び、買い、食べることは国内で生産者が作り、消費者が消費するというサイクルが成り立ち、食料自給率をあげることに繋がります。

全国農業協同組合（JA全中）は10月16日を『国消国産の日』と制定し、JAグループ独自のメッセージを活用し、『食』『農』『地域』の重要性などに関する情報発信に取り組んでいます。

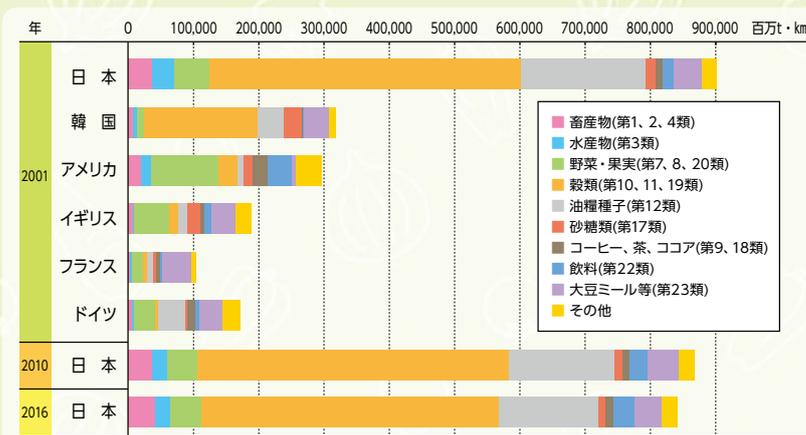


JA全中「国消国産」HP  
<https://agri.ja-group.jp/foodsecurity>

## フードマイレージについて考えよう

フードマイレージはイギリスのNGOによるフードマイルズ運動（地域内で生産された食料を消費することで食料輸送に伴う環境負荷を減らそうという市民運動）の考え方をもとに、農林水産省農林水産政策研究所において開発された指標です。食料の輸入に伴い、排出される二酸化炭素が地球環境に与えている負荷を把握することができます。

フードマイレージ＝  
 食料の輸入量（t）×運ぶ距離（km）



出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」、<https://food-mileage.jp/>  
 (2010年・2016年は日本だけの統計です)

2001年における日本の輸入食料のフード・マイレージを計算すると、約9千億 t・km（トン・キロメートル）で、韓国・アメリカの約3倍、イギリス・ドイツの約5倍、フランスの約9倍と大きくなっています。これに輸送手段ごとの二酸化炭素排出係数をかけ合わせると、輸入食品が日本に到着するまで約1,700万 tの二酸化炭素が排出されていると試算されます。

輸入に頼ることは、二酸化炭素を多く排出するため地球温暖化にもつながります。地元のものを選び購入し、食べることがSDGsにつながっていくと考えられます。

## 女性リーダー研修会及び組合員学習会を開催!!

JAでは5月18日に本店で『女性リーダー研修会及び組合員学習会』を開き、組合員62名が参加しました。第1部は、文芸アナリスト、食料・農業・農村ジャーナリストの大金義昭氏を招き、『“元氣スパイラル”の風を起こす』をテーマにリーダーの立場としての心得について学びました。

第2部では『持続可能な食と農』と題して、NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長の近藤恵津子氏が講師となり、日本の食事情について説明し、地産地消の大切さを訴えました。また、食品添加物はどんなものが使われているかなど実際に調合して味を作る実験をしました。参加者からは「普段手軽に使っている食品の多くに添加物が含まれていることがわかった」と話していました。

※この活動はJA共済の支援を受けています。



リーダーの心得を  
 学びました



添加物を調合し  
 豚骨スープ味の  
 出来上がり

# 特集 地場農畜産物を 食べ食を守ろう!



## 直売所には地場産がいっぱい♪

食を守るため、直売所に行って地場産を買いましょう。  
おススメの旬の夏野菜を紹介します。

管内の直売所  
一覧はこちら→



<https://ja-kanasei.or.jp/food/farmstand>



### ナス

ナスの紫色の皮にはポリフェノールの一種、ナスニンが含まれています。ナスニンには抗酸化作用があり、紫外線の強い夏にはおススメの野菜です。



### キュウリ

カリウムを多く含むため、体内の塩分を排出し、利尿作用やむくみ改善効果が見られます。同時に体の熱を奪い、体温を下げる効果があります。



### トマト

抗酸化力の高いリコピンが含まれているため、美肌効果が期待できます。リコピンは相性の良いオリーブオイルなどと一緒に食べると吸収率がアップします。



### ズッキーニ

多く含まれているβカロテンは、ビタミンCと協力して免疫力の強化に役立ちます。油調理で効率よく栄養を吸収することができます。



### モロヘイヤ

βカロテン、カルシウムの含有量がトップクラス。刻むと現れるヌメリは多糖粘液質の食物繊維で、胃粘膜を保護する働きがあるとされています。



### オクラ

ヌメリ成分には水溶性食物繊維のペクチンが含まれています。整腸作用に効果があり、便秘の改善が期待できます。



### トウモロコシ

野菜の中でも高カロリーなトウモロコシは、疲労回復効果のあるアスパラギン酸や目や肌を紫外線から守るルテインも含んでいます。



### メロン

約90%が水分のメロンは、カリウムが豊富で高血圧予防にも役立つとされます。また疲労回復効果があるクエン酸も含まれ、夏バテにピッタリ。

## 朝ドレッシングは いかがですか?

今年新発売した、朝ドレッシングをかければ、おいしさもアップ。朝ドレファ〜ミ♪で販売中です。ぜひ、お試しください。



## グリーンカーテンの普及を目指して

～ゴーヤー苗を2市8町へ寄贈～

朝ドレファ～ミト成田店は5月16日、グリーンカーテンの普及を目指し、ゴーヤーの苗1071株を管内2市8町に寄贈しました。各市町では事前に募集した住民へ配布します。この活動は、環境保全を目的に、平成25年からJ A共済の地域貢献活動の支援を受け実施しています。

グリーンカーテンは直射日光を防ぎ、室内温度の上昇を抑え、電気代や温室効果ガスを抑制する効果があります。J Aでは「苗は地元生産者が栽培したもの。地域農業を身近に感じ、省エネに取り組んでほしい」と話しています。



ゴーヤー苗を受け取る中井町の担当者⑥

## 新・『梅の風』誕生!!

～味・デザインをリニューアル～

平成18年9月から販売を開始した『梅の風』は、すっきりとした味わいが人気のロングセラー商品ですが、この度さらにおいしくリニューアルしました。梅の果汁を現行の7%から8%へ増量し、爽やかな梅の香りと果実感がアップ。一段と『梅の味』を感じる味わいに仕上がっています。またデザインは、『梅』が持つイメージの赤紫を基調とし、かわいらしい梅の花のイラストを散りばめ、明るく鮮やかな印象になりました。

新商品への切替時期は7月中下旬頃を予定しています。



リニューアルした『梅の風』

## おいしいお米できるかな?

～大井小でバケツ稲づくりに挑戦～

大井町立大井小学校の5年生は、総合の授業で『マイ米作り』と題してバケツ稲づくりに取り組み、稲作について学んでいます。5月21日、J A職員の指導を受け、バケツに『はるみ』を植えましました。「7月中旬までは3cmくらいの深さで水をはって管理し、その後中干しをすること」など今後の管理についても学びました。児童たちは水の管理などを行い、収穫まで生長の様子を観察していく予定です。「はやくおいしいお米にならないかな」「収穫したらおにぎりにして家族にあげたい」など、収穫を待ち望む声が多く聞かれました。

※この活動はJ A共済の支援を受けています



バケツ稲づくりに挑戦する児童たち

## 学校農園助成事業

### 55校が応募

～ 文命中が食育体験を実施 ～

おいしいサツマイモを作ろう——。5月23日、開成町立文命中学校の作業学習でサツマイモの植え付けを行いました。講師は、JA開成営農経済センターの荻野職員で、土づくりからマルチ、定植までを指導しました。荻野職員は「堆肥は土を柔らかくするので布団。肥料は作物のご飯」と役割を説明。生徒は一連の作業に汗を流しました。JAでは管内の小中学校で行う農園活動にかかる費用に対して助成を行っており、今年は過去最多の55校が応募。各学校で野菜栽培などに取り組んでいます。

※この活動はJA共済の支援を受けています



サツマイモの植え付け作業をする生徒

## 足柄茶の魅力を堪能

～ ファームオーナー園で茶摘み体験 ～

県農協茶業センターは5月19日、山北町にある足柄茶ファームオーナー園で茶摘み体験を行いました。同センター社員が「一芯二葉から三葉の柔らかいところを摘んでください」と指導の後、袋がいっぱいになるまで茶摘みを楽しみました。また、茶葉のてんぷらや新茶もふるまわれ、参加者は足柄茶の魅力を堪能しました。

同センターでは「足柄茶の魅力を感じ、産地への理解を深めてもらえたのでは。ファームオーナーは随時募集しているので、ぜひご応募ください」とPRしています。



茶摘みを楽しむ参加者



真鶴岬を背景に記念撮影

## 真鶴・湯河原を散策

～ 女性部中井支部が歩け歩け大会 ～

女性部中井支部は5月20日、『歩け歩け大会』を開きました。14人が参加し、真鶴・湯河原方面を散策。「三ツ石海岸」や『不動の滝』などの景勝地、源頼朝ゆかりの『貴船神社』や『しとどの窟』などを訪れ、歴史に思いをはせながら自然を満喫し、部員同士が交流を深めました。参加者は「不動の滝は迫力があり、パワーをもらった。階段や坂道が多くハードだったが、仲間と一緒に歩くことで楽しく、良い運動になった」と笑顔を見せました。

# インフォメーション

## 農業機械利用事業講習会のご案内

J Aの農業機械利用事業を利用するための講習会を開催します。  
新たに利用する方は必ず受講してください。

日 時：令和6年8月24日（土）  
8：30～11：30（全機種講習）  
8：30～9：00（ハンマーナイフモア追加講習）

場 所：成田総合選果場（小田原市成田802-1）

対 象：当J Aの正組合員及びその家族

内 容：8機種すべての取扱い方法  
（せん定チッパーやトラクター）

申込方法：令和6年8月2日（金）までに各支店、  
または営農経済センターへお申込みください

※次回開催（冬期）は、開成事業所での実施予定です



問合せ先：営農部 営農企画課 ☎0465(46)6952

**大特価**

## 展示即売会 雨天決行

※当日販売できる肥料には数に限りがあります  
※売り切れの際は後日各センター等での引き取りになります

肥料・農薬販売・電動農機具展示・相談など



開催日	時間	場所	連絡先
令和6年7月13日（土）	9：00～13：00	久野営農経済センター （小田原市久野421）	☎0465(35)8010
令和6年7月20日（土）	8：40～12：00	開成営農経済センター （グリーンセンター） （開成町吉田島2000）	☎0465(83)5156
令和6年7月27日（土）	8：40～14：00	成田総合選果場 （小田原市成田802-1）	☎0465(38)0131 成田営農経済センター
	9：00～12：00	下中集出荷場 （小田原市小竹116）	☎0465(81)2776 中井支店

## 農業機械・自動車展示相談会

日 時：令和6年7月12日（金）・13日（土） 9：00～15：00  
場 所：J A全農かながわ西部農機・自動車センター（大井町上大井238）  
内 容：農業機械・自動車等の展示、販売

**同時開催**

### 農業機械安全講習会

13日（土）13：00～  
（刈払機、チェーンソー等の安全な取扱いについて）



問合せ先：J A全農かながわ西部農機・自動車センター ☎0465(83)4171

税務相談会・相続対策個別試算相談会  
及び法律相談会の日程についてはホーム  
ページよりご確認ください

各相談会日程は  
こちらから→



[https://ja-kanasei.or.jp/  
member/kumiai/schedule](https://ja-kanasei.or.jp/member/kumiai/schedule)

申込み・問合せ先：相談課 ☎0465(47)8176



**JAかながわ西湘**

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地  
TEL:0465(47)8125

●かながわ西湘7月号（vol.214）令和6年6月20日（毎月20日発行）  
●発行／かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者／宇留間優  
●編集／組織企画部組織広報課

J Aかながわ西湘ホームページ▶<https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

